

委員会報告

総務文教

一般会計補正予算関連

Q 保健衛生費関連で予防費約二百五十万円の追加の内容。
A インフルエンザ予防接種の補助です。予防接種法で「六十五歳以上の人はインフルエンザの予防接種に努めなければならない」と決められています。個人が予防接種をすると三千百円かかります。六十五歳以上の人

に一人当たり二千百円の補助をして千円で受けられるようにするものです。近隣各町村での取り組みはまちまちです。
Q 社会教育費関連で工事請負費が当初予算額よりも約千二百万円少なくて済んだのはなぜか。
A この工事は生涯学習センター関連です。入札の結果、当初の予定額の七割で落札された



検診風景

ためです。文化ホールの補修工事の中でホール吊り物修繕工事が約三百七十万円。ホール等屋根防水シート修繕工事が約九百五十万円、当初予算額よりも少なくて済みました。ただセンター東側駐車場整備工事に約百十七万円を追加しました。

建設



やさしいまちづくり事業で補助対象の医院予定地

一般会計補正予算関連

Q 歳入の土木費委託金で二十万三千円の増額は。
A 県管理河川の雑草処理を行う。市町村に交付される委託金で、本年度から県より委託を受けるもので、処理区域は下町区と錦野区です。
Q 歳出で都市計画総務費の百九十九万八千円の増額は。

A やさしいまちづくり建築物整備促進事業補助金で、区画整理地内の診療所建築に対するもので、事業費三百万円の内、県と町がそれぞれ三分の一補助するものです。
下水道特別会計
Q 歳出で公共下水道費の繰出金の百六十三万四千円の減額は。
A 公債費償還金利子の歳出財

源を一般会計繰入金から使用料収入に組替による減額です。
Q 歳入の負担金及び使用料の増額は。
A 負担金の五百万円増額は納期前一括納付によるもので、使用料の二百万円増額は、病院、ホテル等の新設があり、為使用水量の増加によるものです。

経済

一般会計補正予算関連

Q 遊休農地は、どれくらいあるのか。
A 現在、農業委員会で調査中とのこと。
Q 県費補助金減はなにか。
A 県において農家数や農地の面積に応じた額が決定後の査定のため
Q 温泉岩戸の里の入館者の減

少で経営状況はどうか。経営努力が足りないのでは。
A 運営協議会や関係者懇談会、従業員の接客研修等を行い努力しています。
Q 有害鳥獣による年内被害は、どのくらいか。
A 最大見積もって千百万円程度です。
Q 農業後継者育成助成金の補

正はなにか。又、町単独の事業か。
A 新規就農者が十一名と当初見込みより多い。又、町単独の事業で一人、十万円。
Q 北部畑総事業の二工区はその後、どうなっているのか。
A 受益者の承諾が得られたので十五年度中、工事着工。



激励会で抱負を語る新規就農者の皆さん（町長応接室）